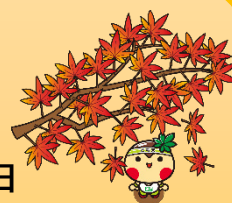


令和5(2023)年度

ウィークエンド青少年セミナー

第3回 実施報告

実施日:令和5(2023)年 11 月 11 日



ウィークエンド青少年セミナーは、青少年がボランティアについて学び、講座やイベントの企画や実践を通して、ボランティア活動や地域貢献活動に参画するために必要な知識や技術の習得を目指すセミナーです。

第3回は、講話・演習「活動プログラムの作り方を学ぼう～学びの杜の冬休みの活動を企画しよう～」を行いました。

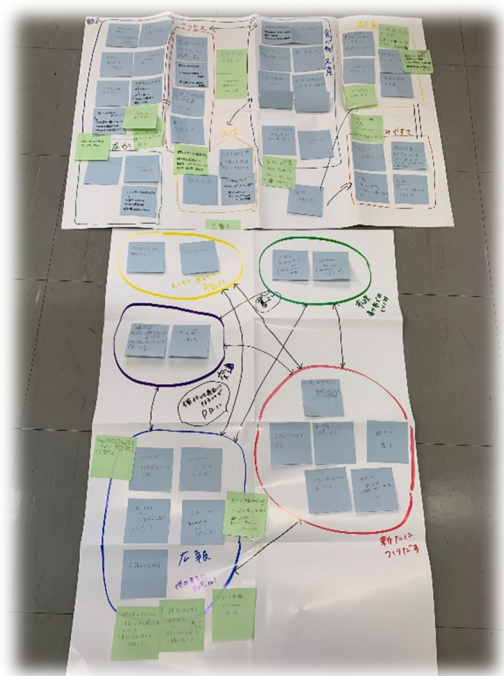


○演習「活動プログラムの作り方を学ぼう～学びの杜の冬休みの活動を企画しよう～」

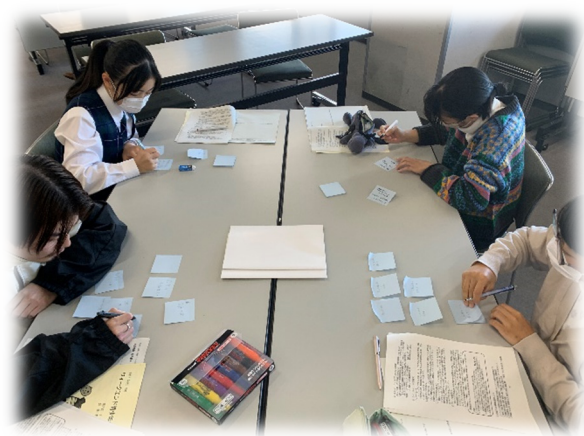
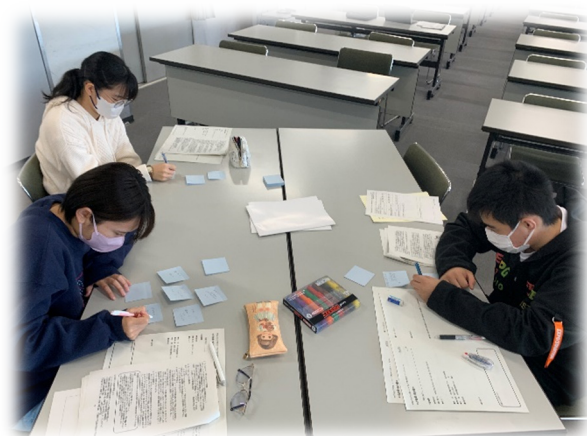
総合教育センター職員

最初に、総合教育センター職員より、活動に向けたチームづくりについて説明しました。特に、仲間と地域活動やボランティア活動に取り組むにあたり、関係性を築いて協働意欲を高め、コミュニケーションをとりやすい環境を整えていくことで、相乗効果が生み出せることを強調しました。受講者は、個々の能力の総和以上の力が発揮できるよう、「グループ」から「チーム」へと高めていく必要性について学ぶことができたようです。

次に、事業や活動の企画・立案のポイントについて確認しました。メンバーでアイデアを出し合い、それらをメンバーそれぞれの視点により練り上げていくことで、深みのあるアイデアにしていく手法について学びました。そして、その代表的な手法である「ブレインストーミング」について学んだ後、「どうしたら栃木県の魅力度ランキングを上げられるか」をテーマに、付箋を活用してアイデアを整理していく手法を体験しました。



ワークショップの成果

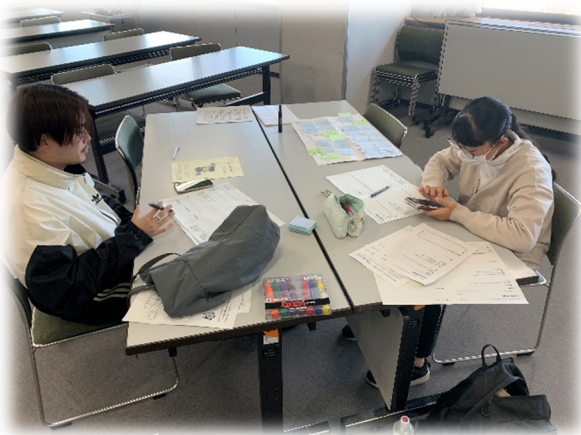
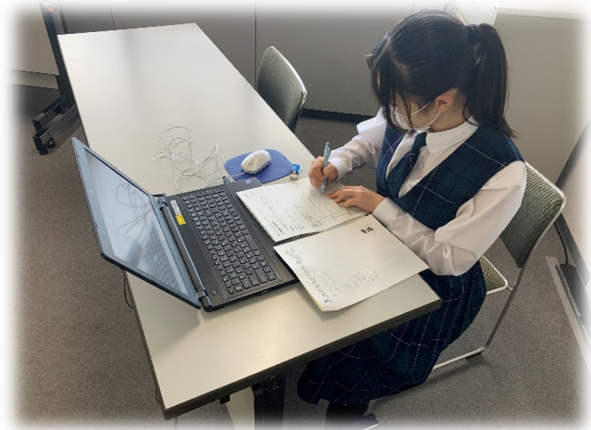


ワークショップの様子



受講者は、まちづくりやボランティア活動を仲間とともに充実したものにしていけるために有用な知識やスキルに触れることができたようでした。また、演習をとおして、漠然としていたものも、話し合いによってまとめていく流れについて経験でき、今後の自身の活動に向けて手応えを感じていたようでした。

午後は、総合教育センター開放事業「学びの杜の冬休み」で取り組む子どもたち向けの活動(最終回で取り組む演習)を実際に企画しました。受講者は、大人にはない自由な発想を基に、子どもたちが楽しく安全に活動に取り組めるよう、確認しながら企画を練り上げていました。



午後の演習の様子

次回は、演習「地域での活動の運営方法を学ぼう～学びの杜の冬休みの活動の準備をしよう～」です。

学びの杜の冬休みでたくさんの子どもたちの笑顔が見られるように準備していきましょう！

受講者の声

- 付箋を活用したワークでは、自分にはない着眼点による考えがあり、他の人の意見から新しい視点に気付くことができた。
- 1人よりも大人数のほうが、より多くの着眼点により物事を考えることができることを実感した。
- 実際にブレインストーミングを体験することで、ファシリテーションの重要性を感じることができた。
- チームビルディングの重要性について学ぶことができた。
- チームで活動する際には、気軽に話し合える関係性をつくった上で、意見をぶつけ合うことの大切さを学ぶことができた。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp